

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No237

(桐蔭横浜大学文部両道セミナーより)

## なぜ“言葉”が“思考力”を高めるのか2

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

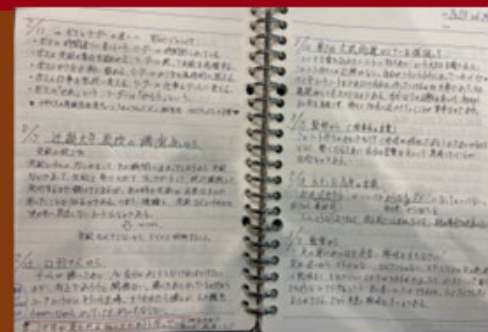
※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

**No236**

桐蔭横浜大学文部両道セミナーより

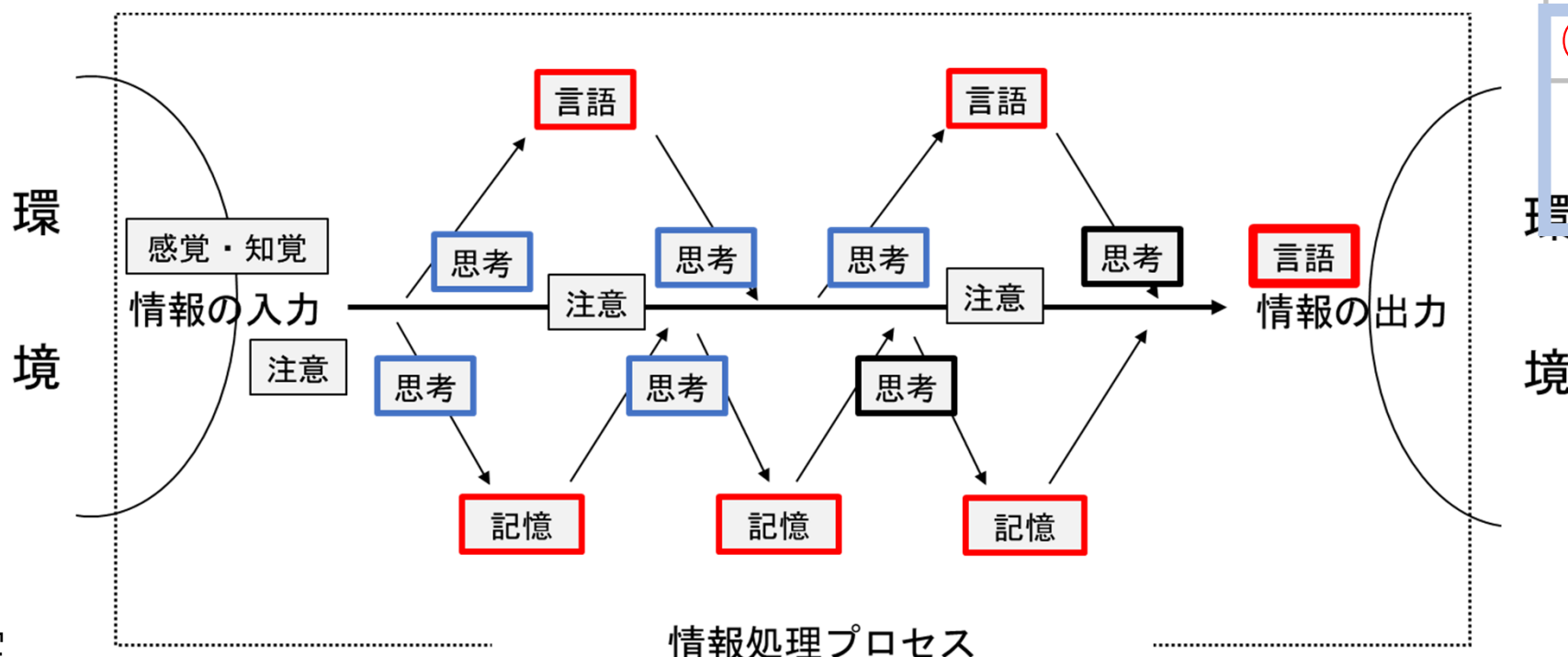
# なぜ“言葉”が“思考力” を高めるのか1



溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

思考 (thinking) とは、情報処理プロセスにおいて働く認知機能の1つであり、ある状態を作り出す働き、ないしはそれに向かうプロセスを指すものである

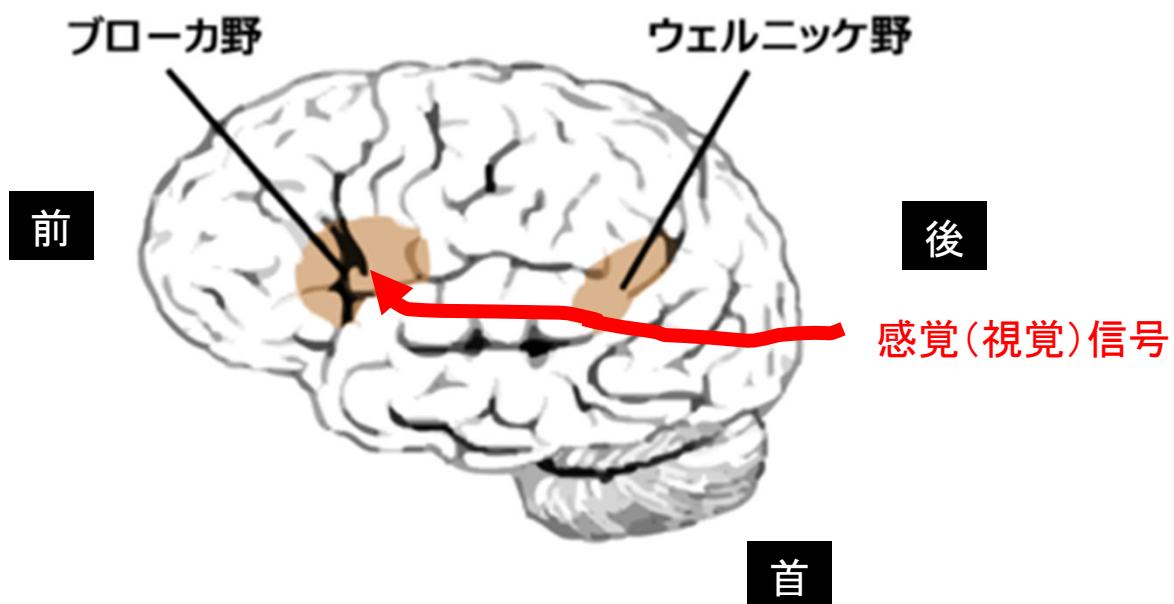
- 認知機能**
- ① 感覚・知覚
  - ② 記憶 (知識)
  - ③ 思考
  - ④ 言語
  - ⑤ 注意
- (とくに「選択的注意」)



文献

・溝上慎一 (2023). インサイドアウト思考—創造的思考から個性的な学習・ライフの構築へ— 東信堂

# 失語症患者の脳内メカニズム



## • ウェルニッケ野

脳の左半球、一般的には側頭葉の後部（上側頭回）に位置し、聞いたり読んだじょうそくとうかい

りした言葉の意味を解釈し、言語情報を処理することに関与しています。

## • ブローカ野

脳の左半球、一般的には前頭葉の下部に位し、話す能力や文の構成、一部の言語理解の側面に重要な役割を果たします。

（例）書かれた文字を読む（内化）、書く・話す（外化）

①視覚から感覚信号が一次視覚野に伝導

②ウェルニッケ野に伝えられ、言葉を読んで意味を理解する（内化）

③②で処理された信号がブローカ野に伝えられ、外化（書く・話す）に関する準備を行う

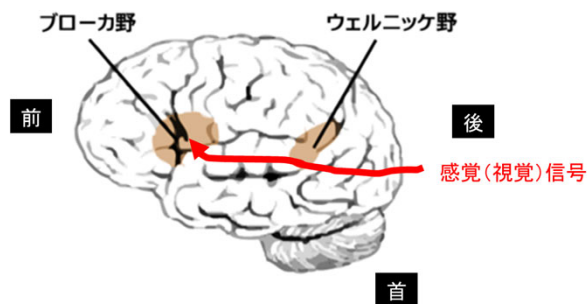
### (例1) ウェルニッケ野の損傷患者

- 言葉の理解ができないので相手とのやりとりは支離滅裂

### (例2) ブローカ野の損傷患者

- 言葉の理解には問題がない
- しかし、発話ができない

### 失語症患者の脳内メカニズム



#### • ウェルニッケ野

脳の左半球、一般的には側頭葉の後部（上側頭回）に位置し、聞いたり読んだじょうそくとうかい  
りした言葉の意味を解釈し、言語情報を処理することに関与しています。

#### • ブローカ野

脳の左半球、一般的には前頭葉の下部に位し、話す能力や文の構成、一部の言語理解の側面に重要な役割を果たします。

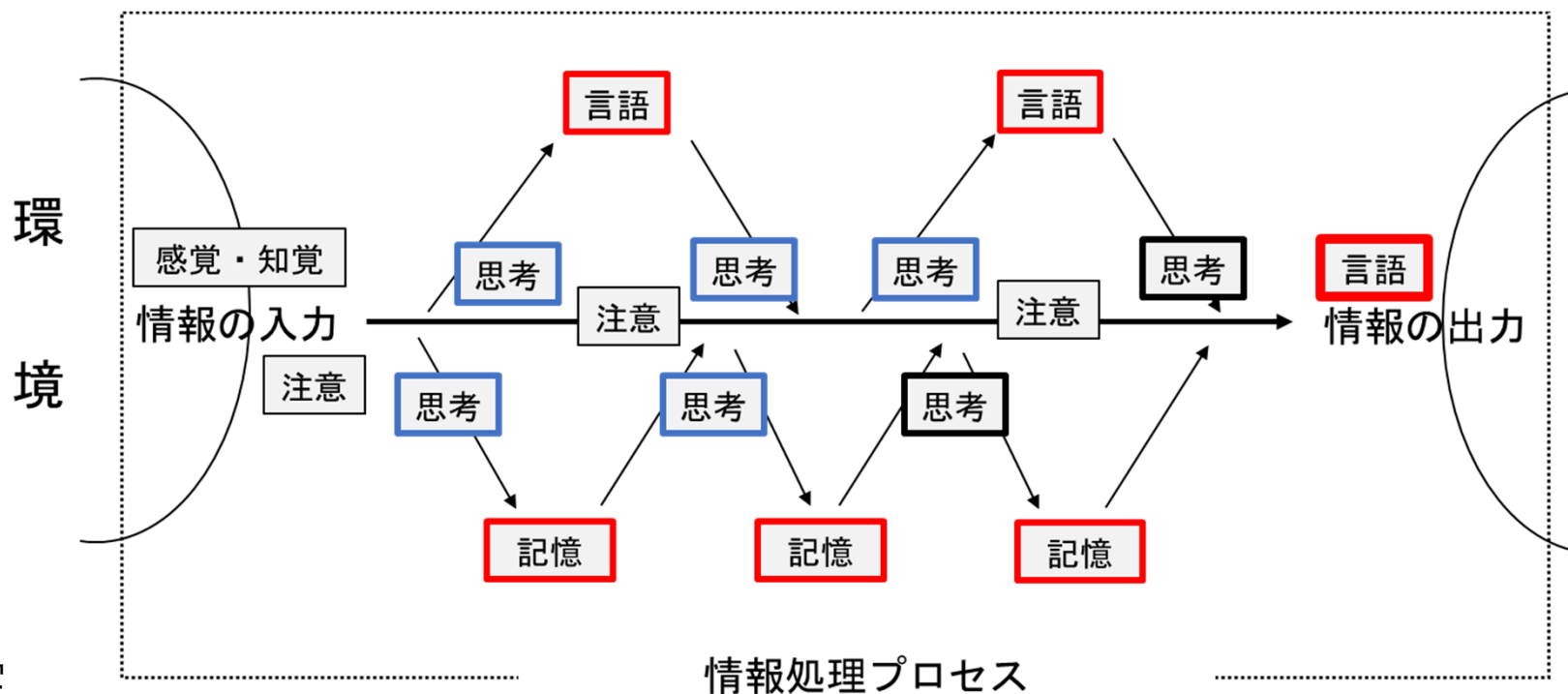
(例) 書かれた文字を読む(内化)、書く・話す(外化)

- ① 視覚から感覚信号が一次視覚野に伝導
- ② ウェルニッケ野に伝えられ、言葉を読んで意味を理解する(内化)
- ③ ②で処理された信号がブローカ野に伝えられ、外化(書く・話す)に関する準備を行う

思考 (thinking) とは、情報処理プロセスにおいて働く認知機能の1つであり、ある状態を作り出す働き、ないしはそれに向かうプロセスを指すものである

- 認知機能**
- ① 感覚・知覚
  - ② 記憶 (知識)
  - ③ 思考
  - ④ 言語
  - ⑤ 注意

(とくに「選択的注意」)



環境

失語症患者の脳内メカニズム

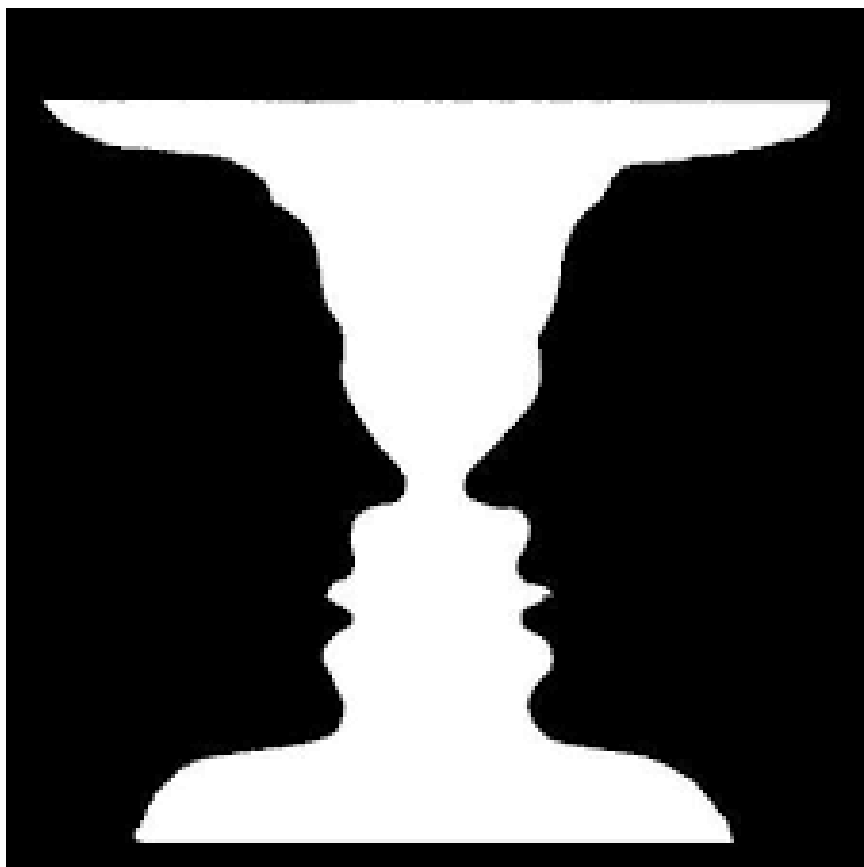
- ・ウェルニッケ野  
脳の左半球、一般的には側頭葉の後部(上側頭回)に位置し、聞いた言葉の音素を認識し、言語情報を処理することに関与しています。
- ・ブローカ野  
脳の左半球、一般的には前頭葉の下部に位置し、話す能力や文の構成、一部の言語理解の側面に重要な役割を果たします。

(例) 書かれた文字を読む(内化)、書く・話す(外化)  
 ① 視覚から感覚信号が一次視覚野に伝導  
 ② ウェルニッケ野に伝えられ、言葉を「読んで」意味を理解する(内化)  
 ③ ②で処理された信号がブローカ野に伝えられ、外化(書く・話す)に関する準備を行う

文献

・溝上慎一 (2023). インサイドアウト思考—創造的思考から個性的な学習・ライフの構築へ— 東信堂

(おまけ) ものや事の認知は知識やエピソードなどの記憶  
(知識) の想起なしには成立しない



ルビンの杯

〔文  
献〕

小谷津孝明 (2011). <こころ>で視る・知る・理解するー認知心理学入門ー 左右社

ご視聴有難うございました  
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。  
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

